

# 家庭での対策

地震は、風水害と違い事前予測ができません。今この瞬間にも地震が発生する可能性は大いにあります。地震が起きてからでは遅いので、備蓄や家具の固定など、今すぐ準備を始めましょう。

## 地震に備えた家具の固定

地震で家具が転倒すると、その下敷きになって命を落としたり、室内に物が散乱して**避難の妨げ**になる恐れがあります。

阪神・淡路大震災地震の負傷者のなかには、建物に特別な被害がなかったものの、家具や家電製品の転倒・散乱によって逃げ遅れたり、室内でけがを負った人たちが多く含まれています。

地震から身を守るためには、**家具の固定や配置**などを工夫し、家のなかの安全を確保しておくことが大事です。

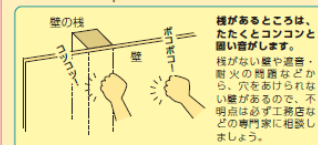
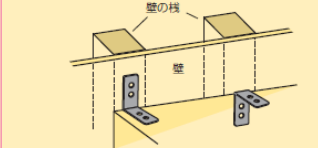
特に寝室や居間など、長く滞在する部屋にはできるだけ家具を置かない、置くなら金具で固定するなどの対策を行いましょう。

### 家具と壁とを直接固定するタイプ

#### L型金具

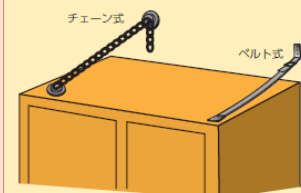
金具で家具と壁とを直接固定するタイプ。

壁の柱(さん)と家具の芯材が確実に入っている位置に、長めの木ねじを使用して取付けます。



#### ベルト式器具 チェーン式器具 プレート式器具

家具と壁とをそれぞれネジ止めした金具を、ベルト、チェーン、などで結ぶタイプ。壁や家具の取付け位置に L 字型金具と同様の注意が必要です。家具の側面に 30° 以下の角度でピンと張る必要があり、たるみがあると効果がありません。



### 家具と壁とを直接固定しないタイプ

#### ポール式器具 (つっぱり棒)

家具と天井との隙間に設置する棒状のタイプ。

家具の両側の側板の位置に設置します。天井に家具を支えるだけの強度がないと効果は少ないとされます。



天井側に厚めの板を渡し、板・家具とポールをネジ止めすると効果的。



家具と天井との間が大きく空いている場合や、奥行きのない家具には効果がありません。

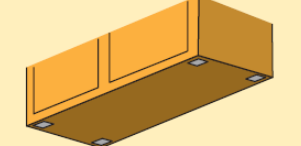
#### ストッパー式器具

家具の前方下部に挟み家具を壁側に傾斜させます。



#### マット式器具

粘着性のゲル状のもので家具のそこ面と床面を粘着させるタイプ。



## 非常用の備蓄

### ■最低3日以上の備蓄を！！

水道・電気・ガスなどのライフラインの復旧や支援物資の到着までには、一般的に3日程度の時間を要すると言われています。今回の能登半島地震では、1週間以上孤立した集落が多数ありました。

★**最低3日以上**の食べ物、飲み物、簡易トイレ(凝固剤と袋)を備えておきましょう。

★いつもの食品や日用品をある程度備蓄しながら使用する「ローリングストック」を実践しましょう。

### 【断水時のトイレについて】

地震で水道に被害があると、家が大丈夫でもトイレの問題が発生します。

#### ■上水道だけ止まった場合

→流水水を確保できれば、水洗トイレが使えます。

#### ■下水道も被害を受けた場合

→**水洗トイレは使用できません！**避難所のマンホールトイレや、通常の洋式便器にポリ袋と凝固剤で用を足す必要があります。

